

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市ふれあい牧場
所在地	四日市市水沢町1358
指定管理者	名称 四日市酪農業協同組合 代表者 代表理事 近藤 貞和 住所 四日市市黒田町395番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	商工農水部 農水振興課 農業センター TEL：059-326-0132 E-mail： nougyoucenter@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

当施設の、動物とのふれあいや、バターづくりなどのイベントにより、酪農への理解を深めるという主要な目的を十分達成し、会館時間の延長や会場日を増やすことにより、指定管理者導入の主眼である市民サービスの向上つとめていました。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断してして良好と評価します。

管理運営については、計画どおり運営されていました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

自主事業については、ふれあい牧場まつりや、各体験イベントが利用者から好評を得ていました。

経費については、管理運営費の削減に努めていました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

利用者の利便を図るため、学校等の団体利用者、牧場まつり来場者にアンケートを実施しおり、今後の業務への活用を期待したい。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

施設は先着順の予約とし、担当者が場内の説明をおこなっていた。また、説明が不要な場合は、だれでも自由に場内を見学できるよう配慮されていた。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

平成20年度は通年どおりふれあい牧場まつり（春・秋）を開催したが、前年度に比べて大きく来場者減になった。恒例イベントであり、楽しみにしている市民も多いため、自主事業ではあるが、ふれあい牧場の重要な行事であり、一層の市民アピールに努めるなど利用者数増加のため努力するよう指示した。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、開館時間等仕様書どおり適切に運営されていた。施設の維持管理についても計画通り実施されていた。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

各種支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルが作成されていた。個人情報保護についても指示どおり周知徹底され、犯罪防止・秘密保持に努めていました。新型インフルエンザ発生の際は、市の指示に従うよう連絡した。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、障害者利用についての対応、廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行された。収入については、来場者は減ったが、各種体験イベントや乳製品売り上げに努力していた。また支出については、経営努力による管理費の削減に努めていた。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表に大きな課題や問題はなく、財務指標についても特に問題はないと判断した。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市ふれあい牧場		所管課:商工農水部農水振興課農業センター
所在地	四日市市水沢町1538		設置年月:平成 9年 4月 1日
設置目的	優良乳牛の増殖育成施設と周辺の豊かな自然環境にふれあい、憩いの場を市民に提供することにより、市民の健康増進を図るとともに、酪農振興に対する理解を深めることを目的として、設置した。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市ふれあい牧場条例		
施設の概要	敷地面積 (㎡)	54,310.00	
		延床面積 (㎡)	1,433.09
	設備の概要		畜舎 829.63㎡ 管理棟 206.84㎡ 堆肥舎 268.00㎡ 便所 18.73㎡ もみがら庫 109.89㎡
事業概要	研修室の貸館 ふれあい牧場の管理 施設見学者への案内、説明 自主事業 ・バター作り、搾乳、授乳体験 ・ふれあい牧場まつり 乳牛の増殖育成		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	357日	357日	0
開館時間	8:30~22:00	8:30~22:00	0

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	47,080人	43,301人	△3,779人
平均利用率	平均 131.9人/日	121.3人/日	△10.6人

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	
指定管理料	5,072,000	5,072,000	0	
会議室使用料	50,000	1,340	△ 48,660	
自主事業	搾乳、授乳体験	780,000	1,615,600	835,600
	バター作り	130,000	675,700	545,700
	乳製品販売	7,800,000	9,186,551	1,386,551
収入計	13,832,000	16,551,191	2,719,191	
人件費	2,682,000	3,535,000	853,000	
管理費	2,043,000	1,758,347	△ 284,653	
消耗品費	291,000	184,476	△ 106,524	
燃料費	154,000	122,949	△ 31,051	
印刷製本費	50,000	0	△ 50,000	
光熱水費	210,000	115,082	△ 94,918	
修繕料	230,000	707,090	477,090	
通信運搬費	50,000	94,800	44,800	
広告料	100,000	46,200	△ 53,800	
手数料	10,000	3,150	△ 6,850	
保険料	80,000	15,000	△ 65,000	
委託料	245,000	241,500	△ 3,500	
賃借料	623,000		△ 623,000	
その他	0	228,100	228,100	
事業費 (ソフト事業等)	8,710,000	11,034,593	2,324,593	
一般管理費	397,000	0	△ 397,000	
支出計	13,832,000	16,327,940	2,495,940	
収 支	0	223,251	223,251	

平成20年度 ふれあい牧場運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	357日	357日	計画どおり	仕様書どおり履行された	適
開館時間	8:30~22:00	8:30~22:00	計画どおり		
事業開催	4事業	4事業	計画どおり		

2. 利用実績

(人)

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
延べ利用者数	47,080	43,301	△ 3779	ふれあい牧場まつり来場者が、天候都合や市制111周年記念イベントとバッティングしたため落ち込んだ。	適
事業参加者実績	牧場まつり	4,200	△ 7800		
	搾乳、授乳体験	5,389	2889		
	バター作り	1,353	853		
	乳製品販売	6,742	△ 8258		
稼働率	平均	121.3人/日	△10.5人/日		

3. 事業収支

(円)

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
会議室使用料	50,000	1,340	△ 48,660	ふれあい牧場まつり来場者は減であったが、自主事業の売り上げは好調であった。	適
指定管理料	5,072,000	5,072,000	0		
自主事業	搾乳、授乳体験	1,615,600	835,600		
	バター作り	675,700	545,700		
	乳製品販売	9,156,551	1,356,551		
収入計	13,832,000	16,521,191	2,689,191		
人件費	2,682,000	3,535,000	853,000	〔勤務体制：正職2人、臨時3人〕 遊歩道の修繕が発生したため、組合員の出会い作業で工事を行い、修繕料の削減に努めたが、出会い作業で対応できない部分があり、修繕費は計画を上回った。必要な機器は持ち寄ったため、重機等の賃借料は発生しなかった。また、消耗品のむだを減らすなど管理費の節減に心がけていた。	適
管理費	2,043,000	1,758,347	△ 284,653		
消耗品費	291,000	184,476	△ 106,524		
燃料費	154,000	122,949	△ 31,051		
印刷製本費	50,000	0	△ 50,000		
光熱水費	210,000	115,082	△ 94,918		
修繕料	230,000	707,090	477,090		
通信運搬費	50,000	94,800	44,800		
広告料	100,000	46,200	△ 53,800		
手数料	10,000	3,150	△ 6,850		
保険料	80,000	15,000	△ 65,000		
委託料	245,000	241,500	△ 3,500		
賃借料	623,000	0	△ 623,000		
その他	0	228,100	228,100		
事業費(ソフト事業等)	8,710,000	11,034,953	2,324,953		
一般管理費	397,000	0	△ 397,000		
支出計	13,832,000	16,328,300	2,496,300		
収支	0	192,891	192,891		

総合コメント

市制111周年行事と秋の牧場まつりがバッティングしたため、主催者も来場者も人数が分散した。また、遊歩道の修繕等を出会い作業でおこなったため、人件費、修繕費が計画より増となった。

平成20年度 ふれあい牧場 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>自主事業ではあるが、ふれあい牧場祭りの来場者が、大きく落ち込んだ。市民には恒例のイベントとして浸透していると考えられるので、イベントの日程の決め方、宣伝方法などを検証し、今後につなげるよう指示した。ただ本年度の事情としてはイベントのバッティングや天候都合であり、やむを得ない事情として今回は適とする。</p>	適
事業 収支	収入	<p>来所者は減となったが、他の自主事業の収入は好調であり、前年を上回った。指定管理者の努力の結果である。</p>	適
	支出	<p>遊歩道の修繕を、組合員の出合い作業で工事し、修繕費の削減に努めたが、対応できない部分があり、修繕費は計画を上回った。重機類は組合員の持寄りであったため、賃借料は発生しなかった。また、消耗品のむだを減らすなどの努力により、管理費の削減に心がけた点は評価できる。</p>	適